

単 元 名	ボール蹴りゲーム	配当時間	10時間
単元の目標	(1) ルールを守り、互いに仲よくゲームを行い、勝敗を素直に認めようとする。 (2) ゲームを楽しむための簡単な作戦を工夫することができる。 (3) ボールを蹴ったり、止めたりして楽しくゲームをすることができる。		
単元を構想する上での留意点	1年生で、ボールを蹴る運動を日常的に経験している児童は少ない。そこで本単元では、ボールを蹴る運動に慣れさせることが大切である。また、集団対集団でルールを決めて行う活動もあり行ったことがないので、一人遊びを十分にさせて個々の欲求を満足させ、徐々に仲間と活動する時間を増やしていく。その中で、上手な蹴り方を教え合ったり作戦を工夫させたりする。		
単元展開例			
準 備	サッカーボール、ビーチボール、ソフトサッカーボール、ダンボール箱、カラーコーン、ハードル、対戦表 など		
学 習 活 動		留 意 事 項 な ど	
1 ボール蹴りゲームのねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。 ○学習のねらいや進め方を知る。 友達と仲よくボール蹴りゲームを楽しもう ○マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○足を使ってボールで遊ぶ。 ・足裏でボールタッチ ・ドリブル ・二人組で対人パス など 2～5 足を使ってボール遊びをする。(ねらい1) ○1人で足を使ったボール遊びをする。 ・足裏でボールタッチ ・ドリブル ・リフティング ・的当て(箱、カラーコーン) ・的通し(ハードル) など ○2人以上で足を使ったボール遊びをする。 ・2人組で対人パス ・ボールの取り合い ・守りをつけて的当て など ○反省し、まとめをする。 ・楽しかったこと ・できたこと など 6～9 簡単なルールで友達と仲よくサークル的当てシュートゲームを楽しむ。(ねらい2) ○チームをつくる。 ○足を使ったボール遊びをする。 ○ゲームの進め方の確認をする。 ・ルール ・マナー ・対戦相手 ○チームのめあてや作戦を話し合う。 ○第1ゲームをする。 ○反省し、練習をする。		・足でボールを操作し、ルールやマナーを守って、友達と仲よくゲームをすることを知らせる。 ・人数分ボールを用意する。 ・蹴ったボールが顔に当たることがないように適当な間隔をとって行わせる。 ・サッカーボールの他にビーチボールやソフトサッカーボールなどいろいろなボールを用意する。 ・グループは自由につくらせる。 ・足のいろいろな部位を使って蹴らせる。 楽しくボール遊びを行う活動を通して、「関心・意欲・態度」を評価する。 ・1チーム4～6人、男女混合で編成する。 ・2～5時に行った遊びをチームで選んで行わせる。 ・いろいろなチームと対戦することを知らせる。 ・ルールの例 ボールはサッカーボール3号 的に当たったら1点 守りも手を使わない 大小の円の間に守る 1ゲーム4～6分 など ・めあてを立てられないチームには、話し合いに教師が加わって助言する。 ・ゲームの結果から、チームのめあてにそ	

○第2ゲームをする。 ○反省し、まとめをする。 ・ルール　・マナー　・作戦　など 10 サークルの当てシュートゲーム大会をする。 ○リーグ戦やトーナメント戦でサークルの当てシュートゲーム大会をする。 ○単元のまとめをする。	った動きができていないチームやまとまりのないチームに助言していく。 ・第1ゲームとは別のチームと対戦させる。 評 作戦を工夫してゲームをする活動を通して、「思考・判断」を評価する。 ・試合方法は、学級の実態に応じて決める。 評 サークルの当てシュートゲーム大会を通して、「技能」を評価する。 ・チームでの話し合いや自己評価などをさせる。
---	--